



会長 道尻 誠助
副会長 小井田和哉
クラブ奉仕 小井田和哉
会長エレクト 小井田和哉
職業奉仕 石橋 信雄
社会奉仕 川村 幸雄
国際奉仕 築館 智大

青少年奉仕 正部家光彦
幹事 紺野 広
会計 峯 正一
会場監督 村上 壽治
直前会長 佐々木泰宏
副幹事 深澤 隆
会計補佐 渡辺 孝

例会日 毎週水曜日 12:30
事務所 八戸市番町14
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 広瀬 知明 同副委員長 福井 哲郎
同委員 奈良 全洋

国際ロータリーのテーマ — 2020～21 — 八戸ロータリークラブのテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

来週も会おう!!

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク

八戸ロータリークラブ会長 道尻 誠助

6 月 は ロータリー 親睦 活動 月間 です

第3189回例会 2021.5.26

会長要件 道尻 誠助 会長



おとといは雨が降って、昨日は風が吹いてと、ちょっと天気が心配でしたが、今朝起きたら五月晴れで非常にうれしく思いました。1年のうちに2、3回晴れれば良いなと思う日がありますが、そのうちの1日が今日、皆既月食があります。太陽と地球と月が一直線になって、地球の影に月が隠れて見えなくなる現象です。月が欠け始めるのは午後6時44分、皆既食は午後8時9分～28分で、午後9時52分には元通りの満月に戻ります。ぜひ皆さんも見えていただければと思います。見えなくても、あるということは世の中にたくさんあります。皆既月食を通じて皆さんもそういうことに思いをはせていただければと思います。

幹事報告 紺野 広 幹事

○6月の日程についてお知らせします。
・12日(土)～16日(水) バーチャル国際大会

・2日(水) 南グループ現・次年度合同会長幹事会。20日(日)のロータリーリーダーシップ研究会は中止となりました。

・当クラブ関係

2日(水) 委員会活動報告①

9日(水) 委員会活動報告②、「ロータリーの友」6月号紹介、理事役員会

16日(水) 任意休会

23日(水) 会長年度総括

30日(水) 最終例会(昼例会)

○年度がそろそろ変更になります。委員会活動報告の締切は6月9日です。次年度計画書の提出は16日、ロータリークラブレター締切は25日です。締切の厳守をお願いします。

○八戸市内のコロナの療養状況は市民病院9人、日赤3人、宿泊療養施設16人。先週に比べ少し増えました。感染経路不明な方、若年層に少し広がっている傾向があります。

委員会報告

親睦・会場委員会

今 彰夫委員

○ニコニコボックスの報告

・会員誕生祝 村井 達さん

- ・奥様誕生祝 奈良全洋さん
- ・結婚記念日 渡辺 孝さん
- 村井 達さん 結婚50年金婚です。^{よわい} 年齢80歳傘
寿です。疲れたナー！
- 奈良全洋さん すっかり忘れていました。1
年半会っていないので、何か
プレゼントを贈りたいと思い
ます。
- 渡辺 孝さん (結婚記念日)
- 道尻誠助さん 明るいきもちにしてくれる
清々しい五月晴れに感謝。
- 橋本八右衛門さん 全国新酒鑑評会、如空が
金賞いただきました。受
賞酒、6月から販売させ
ていただきます。よろし
くお願いします。
- 赤澤栄治・川村幸雄・熊谷清一 } ニコニコ
山田慶次・夏川戸 斉さん } デー

地区研修・協議会出席報告

深澤 隆副幹事

5月22日(土)に開かれた第2830地区地区研修・協議会について4名の方に報告していただきます。

次年度副会長

村井 達さん



先ほど誕生祝いを頂いたときに申し上げましたが、年齢80歳であちこちだいたい疲れています。一番疲れているのは記憶力で、あまりよく思い出して言えませんので、全体に関することを報告いたします。

PETSと同様、ほとんどオンラインの会議でした。次期ガバナーの成田さんは五所川原なので、五所川原のホテルで研修を行い、分科会は三つの会場で行われました。それをオンラインでつないだので、ガバナー事務所の方々は大変苦労されたと思います。内容はこれまで同様、ガバナーがあいさつで国際ロータリーの方針とご自分の方針などを述べられ、その後は国際協議会の出席報告でした。

せっかくフロリダのディズニーワールドで開かれましたが、これも世界中からの参加ではなくオンラインで、成田ガバナーエレクトも1週間くらいオンラインで参加したということで、大変苦労されたと思います。

青少年担当のアドバイザーとしての感想を申し上げたいと思います。ポイントはウイズコロナ、アフターコロナの時代は必ず地球規模でやってくるので、これにロータリーがどう対応するのか。これからはネットの世界に生き、生まれながらにコンピューターやスマホがそばにある中で育ってきた人たちが中心の世の中になっていきます。われわれロータリアンが今まで経験したことのない新しい時代に突入していく。青少年育成というよりも、青少年と一緒に考えて、世の中をつくっていく形になっていくのではないかと。各委員会もそのあたりを頭に浮かべながら勉強をした地区協議会になったと思います。

次年度会計

渡辺 孝さん



協議会の構成は1～3部に分かれていて、私はオンラインで参加しました。1部で国際ロータリーの実情という話があり、いろいろすごいなと思いつきながら聞いていました。

国際ロータリーの事務局長の給料は数千万円で、ロータリアンではないということです。2部では成田ガバナーエレクト、渋谷次期地区幹事長らがお話をされました。ただ、あまり内容を把握できていない話が多く、数字を並べられても資料がないのでよく分からない部分もありました。3部では各委員会報告と次期ガバナーの引き継ぎが行われました。当クラブとも関係があると思ったのは地区資金の免除です。1人当たり25,000円が各ロータリーから地区に供出されていますが、コロナ関係で資金に苦労されている会員がある場合、申請すれば免除されるということです。

次年度副幹事

正部家光彦さん

基調講演は「議事録翻訳作業を通してみた



国際ロータリーの実情」で、沼田直前ガバナーからお話がありました。私は英語教師だったのですが、翻訳、通訳はちょっと間違っただけでも大変なことになるということ、いろんな裏話をされていました。午後の分科会は村井さんがアドバイザーを務められた青少年奉仕部門に参加しました。青少年交換についてはコロナ禍で慎重に進めなければならない時期ではあるけれど、交換留学生募集のポスターを作成し5月中に送付している。交換留学生をこちらからも出し、向こうからも受け入れるというスタンスで、9月30日まで募集しており、これまでポスターを送ったことのない高校にもお願いしているということでした。

ローターアクト委員会の話では、やはりロータリークラブと同等というのはなかなか厳しいのではないかと意見やハラスメント研修が必要では、との声がありました。私は八戸しか知らないのも、実際にハラスメントで困っているということを感じました。

インターアクトについては秋ぐらいに年次大会をむつ担当で、下北ジオパークを舞台にZoom上で工夫して行いたい。インターアクトの翼は国際的視野を広げ、スキルアップを目指すため、実施する方向だそうです。

村井さんの言葉で非常に印象に残ったのは「ネットネイティブが増えてくる。ITネイティブが増えてくる。発想が違う世代が今の10代、20代なので、やはり教えるのではなく青少年から学ぶ、一緒に考えることがロータリアンにも求められてくる」とのアドバイスでした。

奈良 全洋さん



私は新入会員という形で、第2部分科会の「新入会員」に参加させていただきました。進行を務めていただいた小山内さんから、どちらかというオリエンテーションみたい

な形でいろいろお話を伺わせていただきました。

最初はそもそもロータリークラブという名前の由来は？から始まり、ロータリークラブが設立された目的、その頃の時代背景を含めて。ちょうどシカゴのギャングの時代、非常に悪徳なビジネスが横行している頃に正しいビジネスをやりたい、ということで始まったということです。ロータリーのバッジは当時、信頼できる人という証だったそう。ロータリーの歴史をオリエンテーション的に伺いましたが、多くが初めて聞く話でした。全部で9名が参加しましたが、皆さんも初めて聞く話が多いということで、非常に興味深く聞けたとおっしゃっていました。

雑学的な話もありました。ケンタッキー・フライド・チキンのカーネル・サンダースもロータリアンで、あの人形にはバッチが付いているとか、今まで聞いたことのないお話を聞けました。午前10時から午後5時までの会議なので正直、長いなと思っていましたが、結構興味深く聞くことができ、参加させていただいて非常に楽しかったです。

「ロータリーの友」5月号紹介

ロータリーの友委員会 夏川戸 斉委員長



5月は青少年奉仕月間です。その記事を紹介しながら進めていきます。

「あなたのエールで輝く若人」(7～11P) 米山学友の

アブデルアール・アハメドさんというエジプトの方の記事です。サッカーをしていたが、お父さんの死によって方向転換をしなければいけなくなった。五つ星ホテルでインターンをしていたときに見た日本人の整然と並んでいる光景を見て、これはすごいなと思った。エジプト人もこういうふうになったらもっと良い国になるのではないか。それが日本に興味を持ち留学するきっかけのことです。大学では考古学を専攻していますが、なぜ教育に力を入れるのかとの問いに、

「教育には未来を変える力があると信じています。特に若い世代の教育が変われば未来は開きます」と答えているのが印象的でした。

古代エジプトの豆知識も紹介しています。エジプト発祥のものはビール。皆さんはご存じでしたか？なかなか意外だなと感じました。ミイラはどうやって作るの？皆さんもこれを習って作ってみてはいかがでしょうか。

「あなたのエールで輝く若人」(12～15P)

カンボジアの医療センターで栄養士として働く川合菜月さんの紹介記事です。国際活動に興味を持ったきっかけは、大学1年の夏休みにインドのボランティアツアーでスラムの子どもたちと交流したことがきっかけでした。スラム街の子どもたちは貧しくて、かわいそうというイメージでとらえていたようですが、接してみると非常に明るい。川合さんはグローバル補助金奨学生としてロンドンに留学され、そこで同じ奨学金で留学している各国の方々と出会い、一緒に世界を良くしたいと思ったということで、最近の若者はなかなかすごいなと感じました。

川合さんが今働いているのはカンボジアのジャパンハート子ども医療センターで、患者に無償で治療を提供しています。栄養士なので、患者さんに“ご飯の先生”と呼ばれています。川合さんの好きなマザーテレサの言葉は「家に帰って家族を愛しなさい」だそうです。

^{かんかんがく}「侃侃諤諤」(19～20P) 「41年継続の清掃活動が中止。初めて開いた作文コンクールに…」という札幌南ロータリークラブの記事があります。41年間ずっと浜辺の清掃活動をしていたそうですが、コロナでできなくなった。そこで、マイクロプラスチックなどの汚

染問題をテーマにした作文コンクールを実施したところ、1800通を超える応募があったとのことで、非常にすごいことだと思いました。わがロータリーでも何か計画してみてもいいのでしょうか。

「視点」(23P) 「ロータリーの未来図ー新しいローターアクト」との記事があります。福岡・長崎・佐賀の第2700地区では日本のロータリー100周年を記念して第7グループ内に32年ぶりに柳川ローターアクトクラブを結成しました。このローターアクトクラブはロータリークラブが提唱する将来のパターンとは異なり、ロータリークラブと同格でスタートする形式のクラブということです。会員数はほぼ500人。ロータリーが一番必要としている若さ、女性会員、会員数の三つを兼ね備えた世界一のローターアクトクラブが誕生した、とあります。

「友愛の広場」(縦組み17P) 寄稿のタイトルは「今のわたしにできること」。結城ロータリークラブが小学生から寄付を受けた使用済みのランドセルをタイに送る活動をしています。卒業後に寄付をした中学生が少年の主張茨城県大会に出場し、県教育長賞を受賞しました。その作品が紹介されています。学校で配られた「使い終わったランドセルを発展途上国の子どもたちに送いませんか？」という紙に書かれたメッセージがきっかけだったそうで、お母さんに相談し、思い出もあるので悩んだけれども、小さなことでも今のわたしにできることをしたいと思った、との内容でした。この小学生は新型コロナで危険にさらされている子どもたちを支援する募金があることを知って、自分のお小遣いから少しずつ出しているそうです。

出席報告						寄付報告	
出席委員会						国際奉仕委員会	
第3189回例会（5月26日）			第3187回例会（5月12日）			5月26日現在	
出席率 63.2%			出席率 100%		修正出席率 100%	財団寄付額 ￥390,300	
						目標達成率 33.6%	
総会員数 60名		出席数 36名	総会員数 62名		メイクアップした人数 0名	寄付者数 21／62名	
出席義務会員 57名		出席免除会員 3名	出席義務会員 62名		出席免除会員 0名	米山寄付額 ￥280,800	
		欠席数 21名	出席義務会員 62名		出席免除会員 0名	目標達成率 45.3%	
					欠席数 0名	寄付者数 20／62名	